



学校通信

令和7年 6月30日
東京都立葛飾盲学校長
竹内 大吾
(第4号)

「猛暑から子供たちを守るために」

校長 竹内 大吾

7月を前にして、連日猛暑の日が続いております。昭和8年に山形県で観測された国内最高気温 40.8℃は、平成19年に更新されるまで、74年間、国内最高気温の記録でしたが、その後、現在に至るまで 40.8℃以上は全国で8回記録されております。

令和6年4月からは、気温が特に著しく高くなり、熱中症により人の健康に係る重大な被害が生ずるおそれがある場合に、熱中症特別警戒アラートの運用が始まりました。これは、都道府県内において、全ての暑さ指数情報提供地点における、翌日の最高暑さ指数(WBGT)が35(予測値)に達する場合などに発表されるもので、発表された場合は、外出をできるだけ控え、室内でエアコンを活用するなど、自分や周囲の人の身を守る行動をとるようにとされております。このように、猛暑については、台風や地震などと同じ自然災害として考えていく世の中になりました。

学校では、熱中症対策として、①日々の定期的な WBGT の観測・注意喚起②教室などでのクーラーの適切な使用③定期的な水分補給時間の確保④校外活動での着帽などを取り組んでおります。また、熱中症は、朝食を抜いたり、睡眠が不足したりしていると起きやすいとも言われておりますので、御家庭でも、バランスの良い食生活、十分な睡眠時間を心がけていただければと思います。

さて、自然災害発生の際は、「自助、共助、公助」が大事であると言われておりますが、暑さ対策の「自助」とは何でしょうか。寒暖を感じて自分で衣服調整したり、水分補給をしたり、規則正しい生活を送ったり、また身体の不調を大人に伝えたりすることなど、様々なことがあります。

幼児・児童・生徒の健康や生命を守るため、私たち大人はできる限りの環境整備をする必要がありますが、それと同時に、将来に向けて、「自助」の力を身に付けさせる視点も忘れてはいけないと思います。今後も、御家庭と連携しながら、熱中症や体調不良に注意して、健やかな毎日を過ごせるよう心掛けて参ります。

「小学部移動教室」

5月29日～30日に小学部4・5年生が移動教室に行きました。今年は葛西・夢の島方面に行ってきました。熱帯植物園や第5福竜丸展示館、葛西臨海水族園などを見学しました。熱帯植物園では、様々なハーブの匂いをかいだり、珍しい食虫植物を見たりしました。子供たちのお気に入りの香りは『シナモン』で、みんな「いい匂い!」と言っていました。第5福竜丸展示館では、水爆実験の被害にあった70年ほど前の大きなマグロ漁船を見ました。実際に見て話を聞くことで水爆の恐ろしさや怖さを実感していました。

でもやっぱり、一番楽しかったのは、宿泊施設でのレクリエーション活動や部屋で過ごした時間。友達といっぱい話したり遊んだりしながら楽しい時間を過ごしました。

(文責：舟橋)

